

## 第30期目録委員会記録 No.10

### 第10回委員会

日時：2006年3月11日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会5階会議室

出席：永田委員長，白石，鈴木，原井，平田，古川，増井，茂出木，横山，渡邊  
<事務局>磯部

#### [配付資料]

1. 「NCR1987 2R」要訂正箇所一覧（14ページ-A4，横山委員）
2. 「NCR1987 2R」要訂正箇所一覧（色分け）（6ページ-A4，横山委員）
3. NCR第2章 ISBN13桁化に係る改訂試案（2ページ-A4，鈴木委員）
4. RDA（draft2005）第2章の構成（2ページ-A4，鈴木委員）
5. RDA（draft2005）第2章とAACR2（第1章を中心とする）の構成比較（6ページ-A4，鈴木委員）
6. 第30期第9回目録委員会記録（4ページ-A4，事務局）

#### [報告・連絡事項]

1. 2006年度事業計画について  
3月3日の理事会に2006年度目録委員会事業計画を報告し，了承された。
2. IFLA国際目録委員会ソウル会議について  
同委員会より永田委員長に，ソウルで8月に開催される会議への出席依頼があった。
3. RDA:draft2005に対するコメントについて  
3月1日が締め切りだったため今回は見送ったが，次の機会を期す。

#### [検討事項]

1. NCR1987年版改訂2版の訂正について  
配布資料1に基づき結論の出ていない個所を検討し，次のとおり扱いを決定した。
  - ・ 標題紙裏 「1987年版改訂2版」→「1987年版，改訂2版」
  - ・ 1.0.2.1ア)(3) 現行のままとする。
  - ・ 1.0.3.2 現行のままとする。
  - ・ 1.0.6.7B(1) 現行のままとする。9.0.6.7Bを直す。
  - ・ 1.1.1.2C 現行のままとする。5.1.1.2Cを直す。
  - ・ 2.4.2.2D 「頒布者とこれに対応する」→「頒布者とそれに対応する」
  - ・ 4.0.3.1 「記述は原則として，」→「記述は，原則として，」
  - ・ 4.5.3.2C 現行のままとする。
  - ・ 4.7.3.1A 現行のままとする。
  - ・ 4.7.3.7A 現行のままとする。

- ・ 5.1.2.1A 「なっているときは、」 → 「なっている場合は、」
- ・ 5.1.2.2 (例) 「月夜三章；」 → 「月夜三唱：」
- ・ 5.1.4.2 (例) 「インベンション」 → 「インヴェンション」
- ・ 5.1.5.1E (例) 「イソップの森；」 → 「イソップの森：」
- ・ 5.1.5.2A (例) 「榎本富士夫」 → 「榎本富士夫」
- ・ 5.1.5.2E (例) 「time : for marimba」 → 「time for marimba」  
「Mirage : pour marimba」 → 「Mirage pour marimba」
- ・ 5.2.1.1A (例) 「ヴァルタ・ヴェル編」 → 「ヴァルター・デュル編」
- ・ 5.2.3.2 (例) 「日本初版」 → 「日本新版」
- ・ 6.1.3.1 (例) スペースが日本語の区切り記号を意味している。今回は手を入れない。
- ・ 6.1.5.1A 現行のままとする。
- ・ 8.1.1.1C (例) 「舟遊びをする人たちの昼食（部分）」 → 「舟遊びをする人たちの昼食△（部分）」
- ・ 9.5.4.2 現行のままとする。
- ・ 9.7.3.4 現行のままとする。区切り記号のブランクは△で明示するが、それ以外のブランクは明示の必要なし。
- ・ 13.1.5.1D 現行のままとする。1.1.5.1C, 2.1.5.1D, 9.1.5.1Cを直す。
- ・ 23.2.1.4A 現行のままとする。付録1の2本文の「， 標目では姓と名の区分」を削除する。
- ・ 23.2.1.4Bイ) 現行のままとする。

## 2. ISBNの13桁化への対応について

鈴木委員より配布資料3に基づき、関係機関におけるISBN 13桁化についての決定事項および改訂試案の説明があり、検討の結果以下の個所を修正することとなった。

- ・ 2.8.1.2 本文 「「ISBN」と記録し、」 → 「最初に「ISBN」と記録し、」
- ・ 2.8.1.2 本文 「13桁ないし10桁」 → 「13桁または10桁」
- ・ 2.8.1.2A 本文 「10桁と13桁」 → 「13桁と10桁」
- ・ 2.8.1.2A 本文 「10桁のISBNを表示する。」 → 「10桁のISBNを記録する。」
- ・ 2.8.1.2A任意規定 本文を「双方のISBNを13桁，10桁の順に記録する。」に修正する。
- ・ 2.8.1.1A任意規定に13桁の事例を追加する。

この改訂は、webで流した上で、改訂3版に入れることとする。なお、関連して改訂2版の用語集 (p.376) の該当個所を修正する。

## 3. RDA (draft2005) 第2章について

鈴木委員より配布資料4，5に基づき、RDA draft2005の第2章について説明があり、以下の意見が出された。

- ・ 同じエレメントを集めようとしているが、徹底していない。
- ・ エリアと要素は概ね第2章に集中している。今までは注記だったものが1つのエレメントになっている例がある。
- ・ 今まで注記だったものが要素として入ってきているので、何を記録すべきかは要素単

位ごとに洗い直す必要がある。

- draft2004では第1章にはいっていたtechnical description がdraft2005では全部第3章に移っており，その経緯が不明である。
- draft2004からdraft2005での項目の入れ替え理由が不明で，両者があまりにも違っている。
- タイトルについては集中させているのに対し，シリーズはそうになっていない。継続資料のことが混在していてわかりにくい。
- 本タイトルに対して，シリーズは上位レベルのタイトル，内容細目は下位レベルのタイトルと位置づけられる。内容細目は第4章で扱われているが，シリーズの次に位置づけるのが相当ではないか。
- 資料種別の構成を変えようとしたことは理解できるが，まだ新しい構造に行き着いていない。中途半端なものがスタンダードになると困る。

次回の委員会の予定

4月15日（土）

5月27日（土）

6月24日（土）

以上